

## ご挨拶

福岡県知事  
小川洋

福岡県美しいまちづくり建築賞は、県民の皆さんや事業者の方々の美しいまちづくりへのご理解により、年々優れた応募作品に恵まれ、今年度で26回目を数えました。本賞の評価も益々高まりつつあることは、喜ばしい限りであり、ここに深く感謝申し上げます。

本県では、県民の皆様一人ひとりが福岡県に生まれて良かった、生活できて良かったと実感できる「県民幸福度日本一」をめざし、さまざまな取組を行っています。

その施策の取組方針のひとつに、「環境と調和し、快適に暮らせること」を掲げ、美しいまちづくりの推進に取り組んでおり、その一環として、福岡県美しいまちづくり建築賞を設けております。

本賞は、国際居住年(昭和62年)を契機に創設された「福岡県建築住宅文化賞」を、平成12年に「福岡県美しいまちづくり条例」の制定に伴い、美しいまちづくりに対する県民意識の醸成を図ることを目的として移行したものです。個性豊かで美しく良好な景観形成に貢献し、建築計画において特に優れた建築物は、地域への愛着や誇りを育み、快適で質の高い生活環境を生み出す原動力となります。本賞では、そのような建築物を表彰し、広く県民に紹介することで、県民の皆様が、「建築」や「まちづくり」について考える契機になり、また、県内の建築設計・施工に携わる皆様の意欲向上につながることを期待しているところでです。

今年度も多数の応募作品の中から、選考委員会の厳正な審査によって、住宅の部・一般建築の部より、優れた作品が選定されました。受賞作品はいずれも、周囲の景観形成に資するとともに、次代の建築文化を切り開くすばらしい作品となっております。

今後も、より一層美しいまちづくりの推進に取り組んでまいりますので、どうか皆様にも更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、選考委員会の各委員をはじめ関係者の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、受賞者並びに応募者の皆様の今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

## 総評

福岡県美しいまちづくり建築賞選考委員会 委員長  
元近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科教授  
工藤卓

福岡県の美しいまちづくりに寄与する優れた建築物を表彰する本賞が、本年度で第26回を迎えた。四半世紀を超えて継続しているこの建築賞がきっかけとなって、「福岡県の建築」の社会的な認知が進み、建築文化への関心が一層深まっていくことを期待している。

本年度は住宅の部43、一般建築の部40、総数83の作品の応募があった。地域別の応募数を昨年度と比較すると、福岡地域では昨年度の49から本年度の48とほぼ同数であった。筑豊地域では8から7、北九州地域では18から7に減少、筑後地域が10から18に増加した。

第1次選考は、10名で構成する選考委員会によって、10月7日に応募書類審査が行われ、協議と投票によって8作品を現地審査対象に選出した。初回の選考では、選考委員がそれぞれに魅力を感じる作品の多さから、得票が大幅にばらつき、選出作品の絞り込みに苦労した。第2次選考の現地審査は、11月25日と同28日に行われ、機能、材料、意匠、技術、景観の特徴について、表彰対象者である建て主、設計者、施工者から立ち会いをいただき、説明を受けた。そこでは、図面や写真からでは判断できない貴重な空間体験が得られ、建築を創りあげた関係者の努力と喜びに触れることができた。

最終選考は、現地審査最終日に開かれた委員会で、各作品の評価を協議した後に、投票によって受賞作品を選出した。建築作品に序列をつけて評価するのは極めて困難なことであったが、建築の専門的な詳細だけにこだわることなく、現地審査から伝わってきた建て主の喜び、施工者の誇り、設計者の創造力もまた評価軸とすることができた。その結果、福岡県知事表彰の大賞および優秀賞は、住宅の部と一般建築の部それぞれに各1点を選出した。また、本年度は、「木質の良さ、美しさを表現した建築物」を表彰する「一財：福岡県建築住宅センター理事長賞」を創設して、2作品を選出した。この新設の賞は、建築の木造化・木質化を推進することで、森林資源を健全に守り育てていく木材の利用促進と、県民の木造文化への関心の高まりを期待したものである。

### 住宅の部

大賞受賞作品「Obi house」は、福岡市の室見川河口近くの都市近郊型住宅地に建つ、核家族のための住宅である。白く統一された空間意匠と美しい生活の感性を評価した。

優秀賞受賞作品「地形に寄り添う家」は、福岡市内の丘陵住宅地に建つ核家族のための住宅である。高低差のある狭小変形敷地を逆手にとった、のびやかな空間の構成を評価した。

### 一般建築の部

大賞受賞作品「筑紫保育園 分園」は、太宰府市の御笠川沿いに建てられた「こどもの家」である。園児の目線にあわせた空間寸法を基準にした木造木質系建築の空間造形を評価した。

優秀賞受賞作品「天然田園温泉 ふかほり邸」は、筑後平野に残された築185年の旧家の家屋敷を再生活用した宿泊施設である。修復した本館棟と複数の別棟が屋敷森と渾然一体となった、やすらぎ景観の創出を評価した。

### 一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞

「宗像・杉の家」は、宗像の丘陵住宅地に建つ木造木質系住宅である。民家型木造架構が心地よく感じる「木の家」造りを評価した。

「九州大学伊都ゲストハウス」は、訪問研究者向けの長期滞在型宿泊施設である。福岡県内で初めての中・大規模木造3階建て建築の創出を評価した。

住宅の部  
Obi house  
所在地：福岡市西区



撮影：Y.harigane (Techni Staff)



設計者 ソルト建築設計事務所 西岡梨夏  
〒810-0014  
福岡市中央区平尾5-22-30-503  
TEL / FAX 092-791-9037  
URL <http://salt-arch.com/>

建築主 個人  
施工者 株式会社筑羽工務店 代表取締役 秦福美  
用途 一戸建ての住宅  
構造規模 木造2階建て

## 設計趣旨

北側接道以外の3方向を隣家に囲まれた、住宅街の一区画に建つ住宅である。

「家族の気配がわかるワンルームのような空間が欲しい」という施主要望に対して、6つの帯を層状に重ねて配置することによって、用途に応じて緩やかに場が連続する空間を提案した。

これらの帯には、デザインと一体化した開口が開けられており、奥へ奥へと空間がつながってゆく。

また、この帯は単なる間仕切りとしての役割だけでなく、設備・収納・構造などの機能も兼ねている。

開口の重なりによって奥まで視線が通ったり、帯にぶつかって視線が途切れたり、主体の動きに合わせて空間の奥行きが変化し、建物内部に豊かな風景を生んでいる。



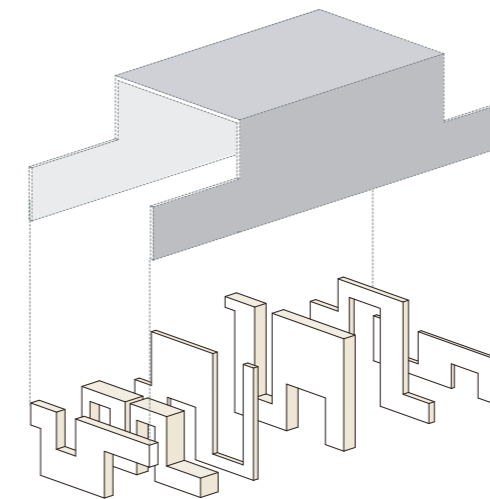
## 講評

若い核家族世代の生活空間が、白い芸術作品のように創られている。帯と呼ばれる複数の間仕切り装置の仕上がりが端正だ。建て主、設計者、施工者の3者の創造力が結晶された、気持ちのよい空間が表現されている。

なかでも、株立ちのシマトネリコの木を植えた、室内庭の空間がおしゃれである。天井の天窓と壁面の高窓から光が周到に導かれ、木の葉がやわらかな緑陰をつくっている。芝生の外庭だけでなく、室内にも子供が遊ぶ公園が欲しいという建て主の希望は、設計者のみずみずしい光の感性によって、2層分が吹抜けた「木のある遊び場」としてデザインされている。

内と外の2つの庭を巡って走り回る子供の光景は、この家の思い出となって、家族の記憶に残るだろう。住宅のデザインが、子供を守り育てる力を持つことを、まざまざと見る思いである。

住宅の外観は、室内の美的感覚に満ちた造形から一転して、単純な表層で控えてある。それでも、建築壁面を道路から後退させて、玄関前に植栽帯を設け、駐車場を縦列型に配置した街並みへの配慮が、さりげなく心地よい景観を創っている。



一般建築の部  
筑紫保育園 分園  
所在地：太宰府市



撮影：河野博之

設計者  
内田貴久建築設計事務所  
〒830-0062  
久留米市荒木町白口1148-18  
TEL 090-5089-6079  
URL <http://www.uchida-archi.com/>

建築主  
社会福祉法人八紘福祉会 理事長 内田京子  
施工者  
ナガタ建設株式会社 代表取締役 永田義信  
用途  
保育園  
構造規模  
木造平屋建て

## 設計趣旨

施工費用を抑えながらも「木に囲まれた育児空間」という保育園の要望に応えるため、仕上材の省略のため構造体を内部表しとし、小屋組等の省略のため斜めに傾けたトラス梁を屋根下地として利用した。木造トラス梁による山形折板構造で9m幅の無柱空間を実現している。柱材長さに加えて空調気積も減らすため、天井高をかなり低く設計したが、凸凹した屋根形状と妻側台形窓の効果で、大人でも天井の低さを感じることはない。

建物前面道路の歩道がこの地域の散歩コースになっているため、子ども達の保育風景が外から見えるように建物東面の低い位置に大きなガラス面を設けており、地域の人々と保育園の子ども達が視覚的に交流できる建物となっている。

## 講評

園児たちの視線の高さを基準にした小さな規模のデザインが、この保育園をやさしく感じさせている。小さな家を連想させる屋根が5つ連なる景観は、大人にとってはやや窮屈に感じても、園児たちには、広い宇宙の「こどもの家」に思っているかも知れない。

保育室は、園の育児方針である「やさしく、たくましく、まっすぐな、かんがえるこども」の感覚教育に役立つ空間造形が、的を射ている。とりわけ、考案した木造トラス架構の木質系空間は、木製玩具で遊ぶ園児たちの創造力を育む場に相応しい。園児たちは、自分たちの背丈ほども高く、大きなガラスの床窓から、太宰府の四王寺山や御笠川の四季を眺めるのが大好きだという。

園児を見守る保育士と、保護者が寄せたこの建築空間への賛同は、この計画が目指した「こどもの家」造りの本質を評価したものであろう。園児たちがはだしになって木の床で遊ぶ光景は、散歩する市民にとっても、心に残る景観である。

建物周辺の植樹計画はこれから始まるという。今度は、太宰府市の景観まちづくり計画に示されている「水と緑の景観づくり」を目指して、園児たちには、たくさんの若木を植樹してほしい。



## 住宅の部

地形に寄り添う家  
所在地：福岡市中央区

## 設計趣旨

夫婦と2人の姉妹のための住宅。敷地は丘陵地で、南北と東西にも高低差があり、平面も南北に細長い三角形で、平面的にも断面的にも変形している。

本計画では、傾斜地で一般的に行う擁壁による造成をせず、建物と塀の基礎で土留することで、敷地境界際まで建物を寄せ、外壁の延長上の塀を敷地の外周部に巡らせて、要望であったプライベートな2つの広い庭を確保した。

建物は東西の2つのヴォリュームが噛み合う構成としており、東側は地形を活かしたスキップフロアとし、西側は低層に抑え、道路勾配と合わせた屋根勾配として、地形と呼応するような景観を目指した。

地形を活かすことで、この敷地でしか実現し得ない住宅ができたと感じている。

## 講評

坂道に沿わせた全面木板張りの外観が、街並みの中で不思議な存在感を放っている。木造木質環境の復興が叫ばれて久しいが、このような徹底した無垢の木材にこだわった住宅外壁の表現は珍しく、安らぎ感に欠けた現代の住宅地景観に一石を投じている。

三角形で、しかも4mもの高低差のある敷地と件を逆手にとった、建築計画が絶妙である。右勾配と左勾配の屋根を持つ2つの箱家形が、互いの中央部でぶつかり合う複雑な室内空間が力強い。こうした空間造形の工夫が、この住宅を躍動感にあふれるものになっている。

建て主が希望した、家族の動きを視野に入れておきたいという課題は、変化する床の高さと天井の高さを、連動して造形することで解決している。そうしたデザインは2つの中庭にも及んで、室内の中心から双方の中庭が同時に視野に入る「天井のない芝生の部屋」として造形されている。

狭小変形敷地の条件のなかで、外に閉じ、内に開こうとする複雑な設計条件を解きほぐした設計者の、建て主家族へのやさしさを感じる家である。

## 設計者

一級建築士事務所ROOTE 西井洋介  
〒530-0047  
大阪市北区西天満1-7-12 トミビル4F  
TEL 06-6355-4930  
URL <http://www.roote.jp/>

## 建築主

個人

## 施工者

株式会社斉藤工務店 代表取締役 齋藤朋晃

## 用途

一戸建ての住宅

## 構造規模

木造地下1階地上1階建て



撮影：河田弘樹

## 一般建築の部

天然田園温泉 ふかほり邸  
所在地：久留米市三瀬町

## 設計趣旨

筑後平野の田園地域に位置する立地に本館棟と8棟の離れで構成された宿泊施設である。本館棟は、個人の住宅であった築185年の建物を住居から宿泊施設へ用途変更を行い、現在の建築基準等を満たし増改築・新築を行った。

地産地消を概念とし自然素材の持つ魅力を再認識する事により古来より使用されてきた建築材をデザインの中に組み入れ、ディテール等を工夫し適材適所に使用した。数十年で建物を取り壊してしまうことが多い日本の現状であるが、改築前の建物に使用されていた土間や土壁、木材、内装材等を、版築壁や各棟に再利用する事で環境にも配慮された建築である。

地域の景観や四季折々の表情を魅せる日本の気候風土を考慮した上、旧家の趣を残し古民家を商業施設へとリノベートすることで「天然田園温泉 ふかほり邸」は完成した。

## 講評

筑後の旧家を再生活用した本館棟は、屋敷森に分散した新築の複数の別館と一体に整備され、6年前に完成している。本館棟の修復された豪快な柱梁の架構や、土を突き固める版築壁の再生は、この地方の古い民家の構造を知る上で重要である。

民家保存に必要な修景技術、建築材料の再利用、徹底した自然資材の活用に情熱を傾けた建て主、設計者、施工者の民家遺産保護へのまなざしが得難い。また、屋敷森の古木や植生を保護育成していく環境維持の努力も意義がある。

こうした歴史的環境と向き合ったとき、建築の古さや鬱蒼とした樹林の景色に感心するだけでなく、その土地の風土に浸る「体験」もまた、景観の思い出となる。風呂につかり、自然食材を食し、古木に寄り添い、囲炉裏の火を囲むなど、歴史の時間を振り返る体験がここではできる。

田園の筑後十連寺集落のなかにあつて、200年近くの「時間」を蓄積したこの民家遺産は、4千坪の屋敷森とともに、次の世代にむけて守り続けてほしい文化的景観である。

## 設計者

すめら  
皇空間設計 一級建築士事務所 大野英樹 大野公聖  
〒839-0862  
久留米市野中町435-1  
TEL 0942-45-2855

## 建築主

ベストアメニティ株式会社 代表取締役 内田弘

## 施工者

半田建設株式会社 代表取締役 半田利通

## 用途

温泉旅館

## 構造規模

木造2階建て 離れ平屋あり



撮影：大野公聖

## 理事長賞

選考テーマ：木質の良さ、美しさ

宗像・杉の家  
所在地：宗像市

## 設計趣旨

宗像・杉の家は、日本の民家が培ってきた骨太で、風雨や暑さ寒さを凌ぐための様々な意匠を受け継いだ木の家である。

日田津江杉の太い梁や柱、徳島木頭杉の厚い板、屋根や壁に空気が流動する断熱・調湿性能は機械的な設備に頼らずに快適に暮らすことができる。

また、家が呼吸するために、生活する場とものづくりの場との間に風が吹きぬける半屋外の土間を設けている。『外の間』と呼ぶこの空間は、人の出入りや寛ぎの場であり、この家の本質と深く繋がっている。

木と人が同じように年を重ねていく簡素な住まいは、単に外観の美しさではなく、家族の暮らしぶりから出る、佇まいの美しい家である。

設計者

アトリエ<sup>そうしゃ</sup> 艸舎 鈴木達郎 鈴木美奈  
〒811-4234  
遠賀郡岡垣町高倉1348-1  
TEL 093-282-7720

建築主

個人

施工者

株式会社安成工務店 代表取締役 安成信次

用途

一戸建ての住宅

構造規模

木造2階建て



## 講評

無垢の製材の柱梁が整然と組まれた民家型架構が心地よく、竣工して5年目の落ち着いた着きを見せている。居間の薪ストーブの存在もまた、「木の家」特有の空気感をつくりだしている。

敷地地盤が擁壁で高く持ち上げられているため、道路から見上げる軒裏の化粧垂木が目飛び込んできて、いかにも木造伝統工法の「木の家」らしい印象を与えている。

母家と別棟アトリエを繋ぐ軒下の土間は、隣人たちも集まる屋外生活の中心の場であり、地域の景観ともなっている。

この家の建設が始まる前には、両親が二人の子供を連れて木材の生産地まで出かけ、設計者と施工者に案内されて、我が家に似合う木材を選定したという。「木の家の愛着は、こうした家族と木の関わりからも生み出されるものであろう。

「木の家」にはそうした家造りの準備や、加工され組み上げられていく過程を見守る記憶を刻むことができる。塗装の塗り替えや簡単な内装替えは家族で行うという。自由な手入れを家族でできることもまた、「木の家の良さである。

一般財団法人福岡県建築住宅センター

## 理事長賞

選考テーマ：木質の良さ、美しさ

九州大学伊都ゲストハウス  
所在地：福岡市西区

## 設計趣旨

伊都ゲストハウスは、九州大学における国際規模の共同研究や研究者交流へのサポートの一環として、単身者から家族世帯までの住戸と多様な交流空間を兼ね備え、各国から訪れる研究者とその家族が長期滞在可能な宿泊施設として計画された。外部や内部に木をふんだんに使った「和の雰囲気」が感じられる施設は、利用者の心を癒し最先端の研究活動を支えている。

本施設は、九大伊都キャンパスでは初の本格的な大規模木造建築となる。また、今回の整備は「福岡県森林整備加速化・林業再生事業」の補助を活用し、使用木材はすべて国産材、そのうち6割は福岡県産材が使用され地域の林業振興の一助となっている。

設計者

株式会社徳岡設計 代表取締役 徳岡浩二  
〒530-0047  
大阪市北区西天満6-3-11-205  
TEL 06-6499-0701  
URL <http://www.tokuoka-ao.co.jp/>

建築主

国立大学法人九州大学 総長 有川節夫

施工者

松井建設株式会社 取締役社長 松井隆弘

用途

ゲストハウス：寄宿舎・宿泊施設

構造規模

木造3階建て



## 講評

国産や県産の木材を用いた「木造3階建て宿泊施設」が注目される。国内では、2010年に施行された「公共建築物等木材利用促進法」の影響もあって、建築の木造化と内装の木質化が徐々に進行している。

こうしたなかで、このゲストハウスは、福岡県内では初めて計画された中・大規模木造建築である。新キャンパスの大学施設としても初めての木造建築だという。

この施設では、木造を準耐火構造にする「燃え代設計」による木柱構造と、木質系素材を用いた意匠が見どころである。木材活用の趣旨から、規格寸法のスギ無垢材を樹脂結合した「拡張樹脂アンカー工法」による木質表現の創意工夫が興味深い。

平面計画においては、談話ホールや共用キッチンを各階に設けて、滞在者の交流を促す提案が利用者から喜ばれているという。

設計趣旨に示されている、木材を多用した「和の雰囲気」の意匠は、キャンパス内で建設が進む鉄骨やRC造の他の建築群の景観と馴染むまでに、ある程度の時間がかかりそうである。しかし現時点で、中・大規模木造建築のデザインの可能性を推進した、この建築が果たしている意義は大きい。

ご応募いただきました皆様、  
ありがとうございました。  
福岡県美しいまちづくり建築賞につきましては、  
福岡県庁ホームページにてご覧いただけます。

これまでの  
福岡県美しいまちづくり建築賞

[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞]大賞受賞作品

住宅の部

清田の家  
所在地 北九州市八幡東区  
設計者 株式会社森裕建築設計事務所  
代表取締役 森裕  
〒815-0032 福岡市南区塩原4-5-31



撮影：Kouji Okamoto (Techni Staff)



住宅の部

つちと土手の間  
所在地 福岡市南区  
設計者 有限会社瀬野和広+設計アトリエ一級建築士事務所  
代表取締役 瀬野和広  
有限会社CAMELC一級建築士事務所  
代表取締役 松野尾仁美



撮影：大野博之



一般建築の部

九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所  
次世代燃料電池産学連携研究センター  
所在地 福岡市西区  
設計者 国立大学法人九州大学施設部  
施設部長 近藤昭夫  
株式会社梓設計九州支社  
執行役員支社長 前田隆  
株式会社総合設備計画九州支所  
常務取締役九州支所長 飯田信幸



一般建築の部

福岡久山相撲場  
所在地 糟屋郡久山町  
設計者 株式会社稲永建築設計事務所  
代表取締役 重松光明  
〒811-1362 福岡市南区長住1丁目7番27号



第1回福岡県建築住宅文化賞  
昭和63年度 北九州市立美術館  
第2回福岡県建築住宅文化賞  
平成元年度 石橋別邸第一水明荘、福嶋医院、花園幼稚園、  
ピレヅジ香月

第3回福岡県建築住宅文化賞  
平成2年度 松口邸、的野歯科医院、立花の家、  
グリーンピア八女

第4回福岡県建築住宅文化賞  
平成3年度 進藤邸、不知火病院"海の病棟"、  
山田市立山田小学校、  
福岡ウォーターフロントプロムナード"マリゾン"

第5回福岡県建築住宅文化賞  
平成4年度 苅田町立図書館、明治学園高等学校体育館、  
カルタックスおおむた

第6回福岡県建築住宅文化賞  
平成5年度 田川文化エリア、福岡県青少年科学館、  
佐田邸(4世代の家)

第7回福岡県建築住宅文化賞  
平成6年度 茶の文化館、二丈町の家、山笠の家(橋本邸)、  
西大谷第2団地(市営住宅)

第8回福岡県建築住宅文化賞  
平成7年度 縄田邸、上陽町立尾久保小学校

第9回福岡県建築住宅文化賞  
平成8年度 碓井琴平文化館、新宮湊坂

第10回福岡県建築住宅文化賞  
平成9年度 鞍手の家、太宰府長浦台の家

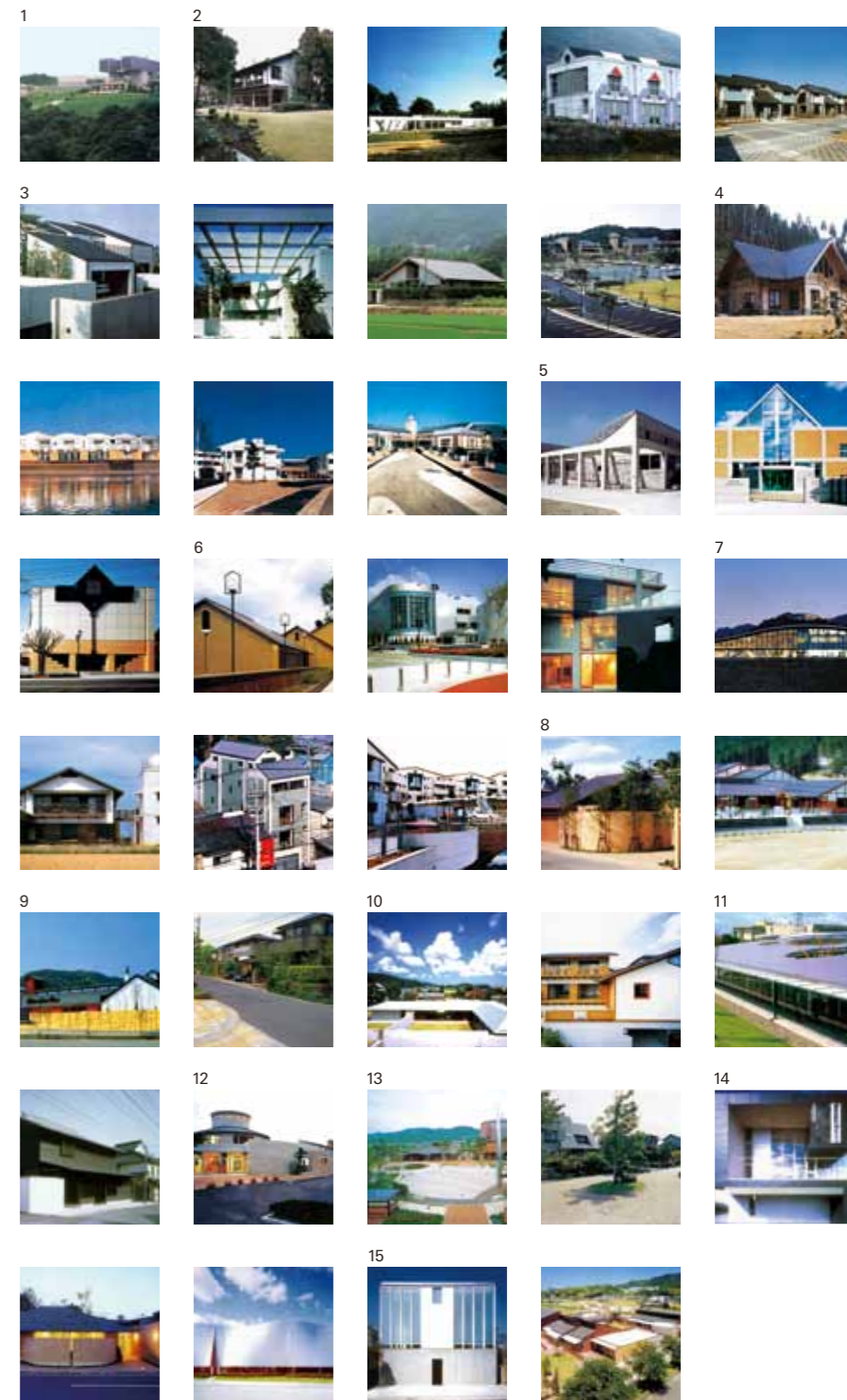
第11回福岡県建築住宅文化賞  
平成10年度 瀬高町立図書館・歴史資料館、  
山村留学ふれあい館(筑穂学舎)

第12回福岡県建築住宅文化賞  
平成11年度 山田市立下山田小学校

第13回福岡県美しいまちづくり賞  
平成12年度 めくばーる三輪、青葉台ほんえるふ

第14回福岡県美しいまちづくり賞  
平成13年度 大野城の住宅、ひふ科いのクリニック、  
八女市多世代交流館「共生の森」

第15回福岡県美しいまちづくり賞  
平成14年度 City Cube、篠栗幼稚園



[建築住宅文化賞、美しいまちづくり賞]大賞受賞作品

第16回福岡県美しいまちづくり賞  
平成15年度 SHIMA STYLE、渡辺クリニック姪浜、247

第17回福岡県美しいまちづくり賞  
平成16年度 カルシア小戸ナチュア

第18回福岡県美しいまちづくり賞  
平成17年度 昭和初期和風住宅の移築プロジェクト、  
西南学院中学校・高等学校、伊田堅抗槽二本煙突(景観賞)

第19回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成18年度 TERZETTO(テルツェット)、中村製紙所新社屋

第20回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成19年度 須崎の長屋

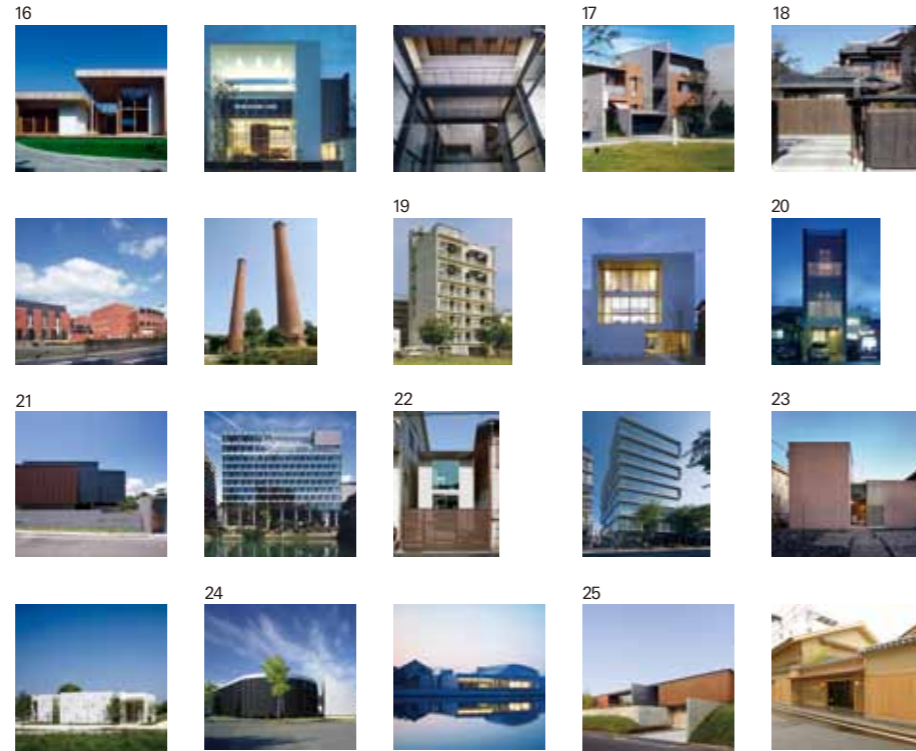
第21回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成20年度 東神原の家、アクア博多

第22回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成21年度 ベットと暮らす家[K邸減築工事]、天神MENTビル

第23回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成22年度 豊前の家、下川歯科医院

第24回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成23年度 むさしヶ丘の住宅、築上町火葬場

第25回福岡県美しいまちづくり建築賞  
平成24年度 四季の家、料亭 嵯峨野



## 一般財団法人福岡県建築住宅センター

[www.fkjc.or.jp/](http://www.fkjc.or.jp/)

お問い合わせ先 / 092 781 5169

### 建築住宅センターの住まいづくりサポート

#### 住宅相談

専門相談員によるアドバイスのほか弁護士による法律相談

#### 住まいづくり教室

一般消費者を対象とした住まいに関するセミナー開催

#### 住まいの安心リフォームアドバイザー派遣制度

耐震診断・バリアフリーに関するアドバイザーの派遣

#### 生涯あんしん住宅

在宅ケア対応モデル住宅の展示

一般財団法人福岡県建築住宅センターは福岡県美しいまちづくり建築賞を応援しています

一般財団法人福岡県建築住宅センターは、県民の高度化・多様化する住まいづくりに応えるため、建築・住宅行政の補完的役割を果たす機関として1978年(昭和53年)に設立されました。

また、当財団は、平成24年4月の公益法人制度改革に伴い、一般財団法人へ移行し新たにスタートいたしました。今後も社会経済情勢の変化に対応しながら、県民のニーズに応えてまいります。

住宅に関する知識の普及、住宅相談、セミナー、住宅瑕疵担保履行法に基づく保険取扱機関としての業務等を通じて消費者の保護を図るとともに、モデル住宅の展示、住宅情報プラザの運営や住宅フェアの開催等を通じて、的確な住情報の提供を行っています。また、工務店等の技術者に対する研修会の開催、建築技術に関する調査研究等を行い、併せて建築物等の安全性(定期報告)に関する業務、並びに福岡県の指定を受けて、指定確認検査機関及び指定構造計算適合性判定機関として、建築確認・検査、構造審査業務及び、国の登録住宅性能評価機関としての諸業務を実施しています。



2013

福岡県建築都市部住宅計画課内  
福岡県美しいまちづくり建築賞事務局

福岡県庁ホームページ

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/d11/kenchikusyo.html>

問い合わせ電話番号

092 643 3733

the  
26th.  
fukuoka  
prefecture/  
architectural  
award  
for  
artistic  
urban  
design

表彰式

2014年3月1日(土)  
九州国立博物館

賞の部門

●住宅の部

- ・一戸建ての専用住宅。ただし、併用住宅で住宅部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。
- ・長屋建住宅及び共同住宅等の集合住宅、街区を形成する住宅群。ただし、複合用途で住宅の部分の延べ面積が過半を占めるものを含みます。

●一般建築の部

- ・原則として住宅の部以外の建築物を対象とします。

●一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長賞

- ・建築物の用途、構造を問わず、「大賞」「優秀賞」受賞作品を除いたものから、木質の良さ、美しさを表現した建築物を対象とします。

表彰の趣旨

今年で26回を迎えた福岡県美しいまちづくり建築賞は、福岡県内の地域の自然、風景、歴史、文化、生活、活動等を背景とした景観の形成に寄与するとともに、建築計画において優れた建築物に対して、大賞、優秀賞等を授与いたします。

選考委員会：◎委員長 ○副委員長 50音順 敬称略

相浦政士 / 一般財団法人福岡県建築住宅センター理事長

○大森洋子 / 久留米工業大学建築・設備工学科教授

岡田知子 / 西日本工業大学デザイン学部建築学科教授

菊竹清文 / 情報彫刻家

◎工藤卓 / 元近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科教授

田上健一 / 九州大学大学院芸術工学研究院准教授

濱崎裕子 / 久留米大学文学部社会福祉学科教授

藤田中 / 西日本新聞社編集局文化部長

藤田理恵子 / 日本色彩学会関西支部支部長

松本悟 / 福岡県建築都市部次長

主催 / 福岡県

協賛 /

一財：福岡県建築住宅センター

後援 /

独法：住宅金融支援機構九州支店

独法：都市再生機構九州支社

福岡県住宅供給公社

公社：福岡県建築士会

社：福岡県建築士事務所協会

社：福岡県建設業協会

公社：福岡県宅地建物取引業協会

一社：九州住宅建設産業協会

公社：日本建築家協会九州支部

一社：日本建築学会九州支部

公社：日本都市計画学会九州支部

特非：日本都市計画家協会福岡支部

福岡県ゆとりある住まいづくり協議会



2013

第26回  
福岡県  
美しいまちづくり  
建築賞